

中小学校だより

September 29st. 2017 No. 7

運動会の練習だけ頑張ったのではない…日常も大切にした9月

「中小ソーラン」は全員が全力で動きがそろおうようにしたい。昼休みに練習していても、はじめは真剣にやってくれていないなあと感じる下学年の子もいました。でも、私たちの言うことを聞いて真剣にやってくれる下学年の子もいるのを見ると、自分達も6年生として頑張らなければと思い、ソーランリーダーを中心に昼休みや放課後に練習しました。すると、4年生や5年生も次第に動きを覚えて、大きな声でやってくれるようになってきました。間違いなくこれが最後の「中小ソーラン」……当日は精一杯の声で精一杯踊りたいと思いました。

雨天やグランドコンディションの不良等で、例年のことながら練習の確保には大変苦労しました。しかし、日本各地で豪雨や洪水等のために避難所生活を余儀なくされている方々がみえることを考えると、無事に運動会の取り組みができることはとても幸せなことだと感じました。

前日までの雨も朝には止んで、さわやかなスポーツ日和となり、全校児童の歓声と保護者の方の笑顔があふれた運動となりました。

また、6年生にとっては小学校最後の運動会でした。6年生も自分達が中小学校のリーダーである自覚と覚悟をもって取り組みから頑張ってきました。特に、「中小ソーラン」では、3階のワークスペースで6年生が毎日下学年の子にソーランを教えました。「自分達も先輩達にこうやって教えてもらってきたから。」……高学年が下学年の仲間に教え伝えるという中小学校のよき伝統は、今年もしっかりと受け継がれました。大きな声で的確に指示を出し、はつらつと踊る姿を見て、下学年の仲間達も「あんな6年生になりたい」というあこがれをもって、日々の練習にも精一杯取り組んできました。

運動会後の解団式では、応援リーダーの仲間が目に涙を浮かべながら、自分の思いの全てを語る姿がとても感動的でした。

また、「運動会の練習だけ頑張るのではなく、日常生活も大切にする」という気持ちが強いのも感じました。例えば、全校練習や朝の活動等で教室を空ける時にも、学級全員のロッカーの中や机列が見事に整頓された学級が多く見られました。リーダーや係を中心に声をかけ合い、「全員でそろえる」ということへのこだわりがあったからでしょう。こうした強い気持ちや頑張った事実は、運動会が終わっても必ず日常生活に生きてきます。日常生活の向上は学習する力の向上にもつながります。そして、仲間と共に頑張った事実は、確かな学級の財産として残ります。

スポーツの秋、読書の秋……などと秋はいろいろな活動に頑張れる月です。運動会で学んだ「一体感」をさらに高めて「仲間と共に輝く中小学校の仲間たち」になってほしいと願っています。



運動会の後片付けに多数ご参加いただきありがとうございました

運動会の後片付けにPTA本部役員の方をはじめ、たくさんの保護者の方に参加いただきありがとうございました。「グランド内にお父さん方、力をかけてくださいませんか？」との放送での呼びかけに、本当に多くのお父さんやお母さん方がテントの片付け等を手伝っていただけました。おかげ様で、安全に手早く片付けることができました。圧巻は、最後に朝礼台を体育倉庫まで運んでくださったお父さん方です。鉄製の朝礼台は大人でも相当重く感じるものですが、爽やかな笑顔で軽々と運んでくださる姿を見て、「さすが、中小学校のお父さん方はすごい！」と感じました。中小学校の子供達もボランティアに取り組むことが大好きですが、保護者の皆さんのこういった姿も「中小学校のすばらしさ」の一つだと思います。

10月のPTA緊急メールのテスト配信について

10月2日(月)の午前10時頃に、メールのテスト配信をします。万が一、メールが受信できなかった場合のみ、学校に連絡をください。